



義教からの

英語教育充実だより

令和3年12月
山形県教育庁
義務教育課

授業づくりに関するお悩み・ご質問

英語教育実践リーダーが実践研究を進める中で悩んだことや、参観させていただいた学校からのご質問をもとに、皆さんで授業づくりについて考えてみましょう。

[Question]

即興で（その場で）話す力を育成するためには、どのようなことに配慮して指導すべきでしょうか。

【Check】

学習指導要領解説で、「即興で（その場で）話すこと」について述べている箇所は？

小学校 → p.79 中学校 → p.22、p.24

Point

☆即興で（その場で）話す活動を繰り返す

最初はたどたどしくて当然ですので、継続的に、即興で話す機会を十分に確保しましょう。また、普段から教師と児童生徒のやり取りを充実させることも大切です。

例えば、題材などの導入で、教師の一方的な発話でなく、児童生徒に問いかけたり、理解を確認したりするなど、様々な場面での工夫が考えられます。

☆児童生徒が話した「内容」を大切にする

発話の「正確さ」が身に付くのは時間がかかります。特にはじめは、児童生徒が話した「内容」を共感的に受け止めながら、発話や会話の継続を促すようにします。

（例）



S : I enjoyed watch a movie. 内容を受け止めながら、さりげなく訂正

T : Oh, you enjoyed watching a movie. What did you watch?

S : I watched Avengers It was exciting.

T : Really? I like it too! ...

教師も気持ちを語る

会話を継続

英語教育実践リーダーの実践事例をウェブサイトに掲載しています。
ぜひご覧いただき、授業づくりの参考にしてください。
（各学校に送付してある通知の URL や QR コードから閲覧を）

